

# 競技注意事項

2020 愛知選手権

- 1 本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考へての競技会のため、通常とは違うので、別紙の「新型コロナウイルス感染拡大防止策」を確認すること。

## 2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1)ユニフォームの胸、背に確実につける。走高跳、棒高跳は胸または背につけるだけでもよい。走幅跳、三段跳は、胸につけるだけでもよい。
- (2)800m以上のトラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付する。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。
- (3)腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却する。

## 3 ウォーミングアップについて（入場は競技者のみです）

- (1)ウォーミングアップ場としてパロマ瑞穂北陸上競技場を最終種目の招集開始時刻まで使用できる。  
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。  
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
- (2)投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3)パロマ瑞穂スタジアム2階室内雨天走路は使用できない。
- (4)本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、**出場競技者に限り、最初のトラック競技開始時刻15分前まで**使用できる。
- (5)北陸上競技場において、直走路でのスターティングブロックの使用は100mHの練習を除き、**110mHのスタートライン**から行うこと。（事故防止・安全確保の措置）
- (6)使用した器具は、各自で責任を持って片づけること。（又貸しは絶対にしないこと）

## 4 招集について

- (1)招集所は正面スタンド下、**100mスタート付近競技者ホール**に設けるが、チェックを受けた競技者はスタート地点及び競技場所に移動する。
- (2)招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3)招集開始時刻及び招集完了時刻は、種目により違うので競技時間の表を確認する。招集開始時刻前に招集所には来ないこと。
- (4)他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

## 5 競技場への入退場について

- (1)入場は、すべて招集所から係の指示により行う。
- (2)退場は、下記による。（必ず手洗い・うがい・洗面をする）
  - ・トラック競技⇒フィニッシュ地点退場口から2階の雨天走路（全天候）を経て退場する。  
または、スパイクシューズを脱いで1階中通路を通ってもよい。
  - ・フィールド競技⇒競技役員の指示による。

## 6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及び  
フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

## 7 競技について

- (1)トラック競技について（すべてタイムレース）
  - ①すべて写真判定装置を使用する。
  - ②レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
  - ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン

(曲走路)を走って止まる。

(2)フィールド競技について(長さを競う種目の試技は3回)

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
- ③三段跳の踏切板は、**男子13m・女子10m**で行う。
- ④走高跳は2ピットを使用して行う。
- ⑤投てきの滑り止め(炭酸マグネシウム等)は個人の物があれば持参してください。

(3)競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。

(4)不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄黒色(斜め半分形)のカード、除外は赤黒色(斜め半分形)のカードを示すことによって競技者に知らされる。

## 8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(天候等の状況により変更することがある。)

|       | 練習         | 1    | 2    | 3    | 4    | 5    | 6    |        |
|-------|------------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 女子走高跳 | 1m40又は1m60 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m68 | 以後3cm  |
| 男子走高跳 | 1m80又は2m00 | 1m85 | 1m90 | 1m95 | 2m00 | 2m05 | 2m08 | 以後3cm  |
| 女子棒高跳 | 2m10又は2m40 | 2m20 | 2m40 | 2m60 | 2m70 | 2m80 | 2m90 | 以後10cm |
| 男子棒高跳 | 4m10又は4m80 | 4m20 | 4m40 | 4m60 | 4m70 | 4m80 | 4m90 | 以後10cm |

※練習はいずれかの希望する高さで行う。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

※棒高跳の競技者は競技場所で「棒高跳支柱位置申請」を行う。

## 9 競技用器具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、やりについては競技場にはないもの、もしくは1つしかないものは持ち込みを認めるので、希望者は招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫(フィニッシュ付近)でやりの検定を受けること。検定に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。

## 10 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクの数は11本以内とする。

## 11 表彰について

- (1)各種目の1~8位には賞状を授与する。
- (2)入賞者は成績発表後、本部表彰室にて各自受け取ること。
- (3)本大会において優秀な成績を収めた競技者、男女各1名に最優秀選手賞を授与する。  
発表後、表彰室へ集合すること。

## 12 東海選手権大会の申込みについて

- (1)この大会の8位までの入賞者に参加資格が与えられる。  
出場を希望する競技者は、19日(日)までに本部で申し込みを完了すること。過日終了のリレー・長距離種目についても同様に申し込む。
- (2)やむを得ない事情でこの大会に出場できなかった競技者は、選考のうえ推薦する場合もあるので、本大会終了までに愛知陸協要覧添付の「推薦依頼書」を作成し、提出する。  
この場合、愛知選手権に出場できなかった理由を推薦理由とあわせて記入する。故障などの

理由によるものは、正当なものとして扱わない。その他、詳細は要覧に記載のとおり。

### 13 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) 出入り口は1階北側のみ。(スタンド正面出入り口は開門しません)
- (2) 開門時刻前に早くから並ばないこと。自分の競技時間に合わせて来てください。(2時間前目安)
- (3) 今年度は応援幕等を張ることを禁止する。
- (4) 応援は禁止する。
- (5) 清掃・ゴミ処理は、各団体、各自で責任を持って行い、環境美化に努める。

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。コロナウイルス感染防止のためにも、他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

### 14 一般的注意事項

- (1) 本大会は大型映像を活用して運営を行うので、氏名・所属等の間違いがあれば本部に申し出ること。
- (2) 商標等の規則について、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に違反したものは、主催者で処置する。
- (3) 更衣室は更衣のみに使用し、シャワーの使用は禁止します。また荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は各自で管理する。
- (4) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、主催者は責任を負わない。
- (5) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室(フィニッシュ付近スタンド下)において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**
- (6) 記録証は、記録室へ400円(送料込み)を添えて申し込む。

#### ◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。

※観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◎メインスタンド両側3階通路より下段のブルーベンチ。

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。